



運輸事業の安全に関するシンポジウム2025
この20年における安全管理体制構築に向けた取組

宮城交通株式会社
代表取締役 青沼 正喜

宮城交通株式会社の概要

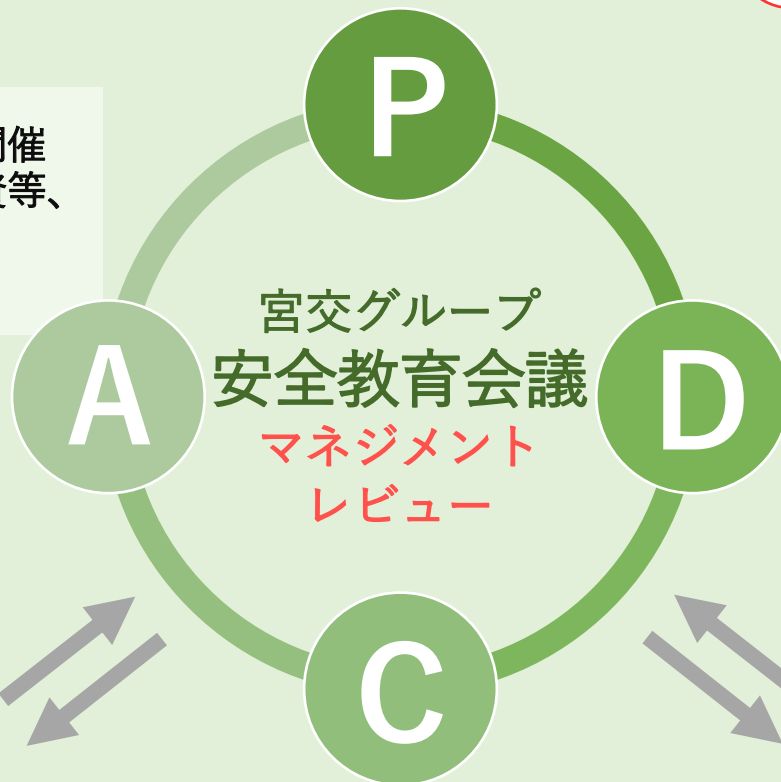
- 設立年 昭和45年
- 本社所在地 宮城県仙台市泉区
- 事業内容 運輸事業(一般乗合旅客自動車運送事業、一般貸切旅客自動車運送事業)
不動産事業
自動車道事業
- 資本金 1億円
- 従業員数 783名(うち運転士577名)
- 関連会社 株式会社ミヤコーバス(従業員数 448名、うち運転士335名)
宮交自動車整備株式会社
宮交観光サービス株式会社
株式会社宮交自動車学校

宮城交通 株式会社

当社の運輸安全マネジメントに対する姿勢

輸送の安全に関する基本的な方針

- 経営層が主体、年2回開催
- 安全重点施策、安全投資等、方針決定機関
- 全社員に周知



営業所
所長会議

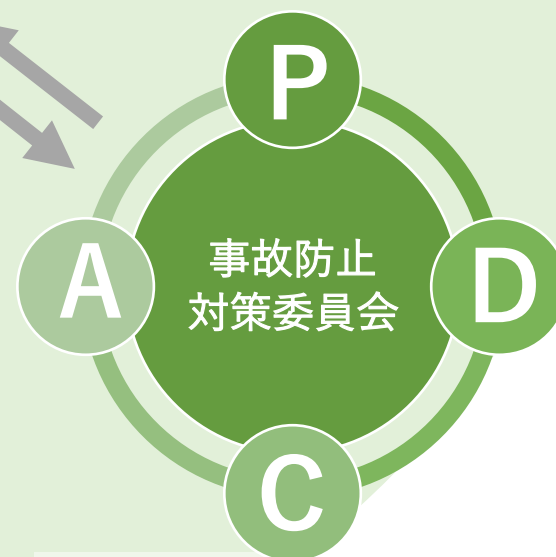
主任運行
管理者会議

主任整備
管理者会議

外部講師研修
ナ斯巴講師など



内部
監査員



- 独立した組織
- 専任の担当調査役、内部監査員
- 安全マネジメントが機能しているか審査

- 年4回開催
- 事故防止運動の安全対策、取組内容を決定

北陸道事故発生

- 発生日時 平成26年3月3日(月) 5時10分
- 路線名 高速 仙台金沢線
- 発生場所 北陸自動車道(上り線)小矢部川SA
- 事故概要 小矢部川SA約1km手前から4回程度ガードレールに衝突をしながら小矢部川SAに入線、同SA内に駐車していた大型トラック2台と相次いで衝突し停止した。
- 被害状況 死者2名
負傷者26名



安全への投資

令和7年8月末時点のASV装置搭載車両（宮城交通）

ASV装置	高速 一般貸切	契約貸切	乗合
衝突被害軽減ブレーキ 車線逸脱警報装置 ふらつき警報装置	67台	10台	2台
ドライバー異常時対応 システム（EDSS）	38台	5台	42台
令和7年8月末現在車両数	高速・一般貸切車両		67台
	契約貸切		31台
	乗合車両		211台



1 | 衝突被害軽減ブレーキ 車線逸脱警報装置 ふらつき警報装置

乗務員の安全運転を支援、高速道路での事故を防ぎ、備える。

2 | ドライバー異常時対応システム（EDSS）

乗務員が体調不良等で運転ができなくなった場合、不測の事態に備えて。

健康を考える日の制定

1 | 3月3日は「健康を考える日」

北陸道事故の記憶を風化させることなく、その教訓を未来へ語り継ぐため、健康起因事故を二度と起こさないために制定。

2 | 取り組み

当該営業所での追悼式、研修会の実施、全乗務員へ北陸道事故の教育、全社員へ健康飲料を配付。



「健康を考える日」は横断幕を掲出



「日本一安全なバス会社」

健康管理体制

1 | 健康相談

保健師と産業医による健康相談で乗務員の健康管理を強化。

対面での健康相談



リモートでの健康相談



検診・検査

2 | 脳疾患・心疾患対策

乗務員全員にスクリーニング検査を実施し、検診・検査に対する補助制度で病気の早期発見・早期治療を促す。

3 | 睡眠時無呼吸症候群対策

全乗務員にスクリーニング検査を実施。健康状態は継続的に把握・管理。

4 | 健康ポイント制度

従業員自ら積極的に健康管理を行うきっかけを作るため、望ましい健康行動に対して評価ポイントを付与し、上位者は年に一度表彰する。



乗務員教育

1 | AIシミュレーター

実技教育では体験できないヒヤリ・ハットなどをシミュレーションし予測防衛運転の徹底を図る。



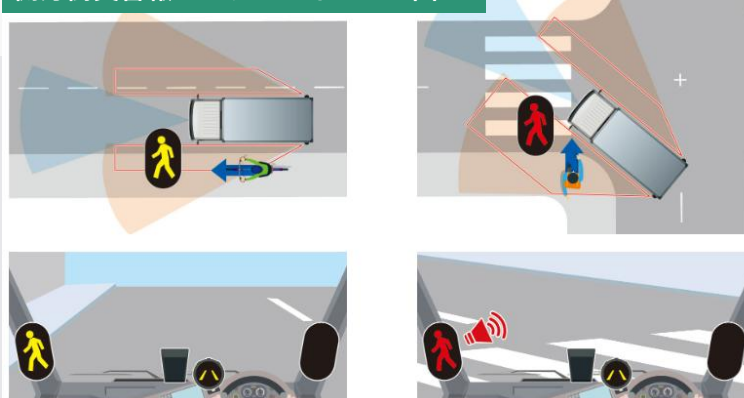
2 | e ラーニング教育

全乗務員が同一水準の教育を効率的に受けられる。

3 | 側方衝突警報システム

車間距離、側方間隔を習得し重大事故を防止。

側方衝突警報システムのイメージ図



安全に関する重点取組み

1 | 左折時一時停止

左折時一時停止を徹底、
衝突事故防止に取り組む。

2 | イエローストップ

予測運転による事故防止に取り組む。

3 | 車間距離の保持

車間距離を保持し追突事故防止に取り組む。

車間・側方間隔や死角を確認する路面標記



左折時一時停止ステッカー

〈高速貸切車両用〉

左折時
一時停止
します



〈乗合車両用〉

左折時 一時停止します

イエローストップの周知



運行の安全性

1 | 運行管理体制

厳正な点呼をとり、
乗務員の健康状態の把握に努める。



ちょいトレ イメージトレーニング 資料⑩

自転車が路地から飛び出し編



①道幅の狭い住宅街を走行中

②横断歩道に接近して、注意していると

③横断歩道手前の敷地から自転車の子供が車道に飛び出す

あなたならどこに注意しますか？
どうしたら危険を防げる？ インスピレーションで答えて！

取組み

「始業点呼時イメージトレーニング」
(ちょいトレ) 自社事案を短時間の動画にまとめ、乗務員にどのように対応するかをイメージさせ、危険感受性を高める。

2023年4月開設

宮城交通グループ研修センター（村田町）

充実した訓練環境と心身のサポートで安全運転を強化



マンツーマンでの実技指導



バス運転訓練に特化したコース



知識豊富な指導員

宮城交通グループ研修センター

総合的な乗務員教育





スキッドゾーン

安全運転訓練車「ゼロワン」



様々な機能を備えた研修用車両で安全運転教育を強化。



燃料消費体験装置

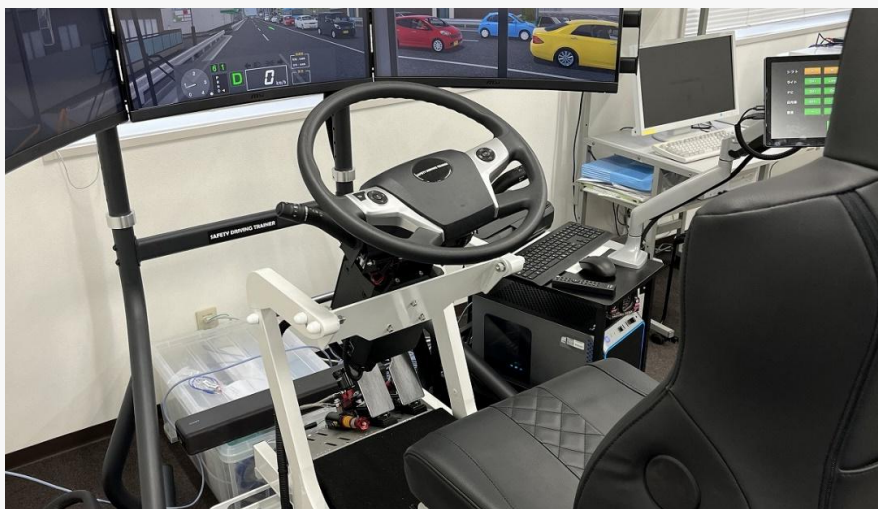


研修用補助ブレーキ



宮城交通グループ研修センター

■ シミュレータを使用した研修で危険予知をブラッシュアップ



■ 指導員のスキルアップで教育の質を向上



- 地域のバス会社や行政機関の研修用にコースを貸出し、ドライバーの研修も請け負う



社会の変化にいち早く気づくことが
私たち経営トップの使命であります。

宮城交通株式会社

